

愛臨技学部研究班活動報告書

所属：生殖医学検査研究班 提出日：令和 4 年 8 月 25 日 報告者：明壁 均

行事種別	生殖医学講演会	行事番号	220003153	
開催日	令和 4 年 8 月 6 日 (土) ~ 19 日 (金) (オンデマンド配信)			
時間	開始	0 時 00 分	終了	23 時 59 分
場所	Web 開催			
テーマ	生殖医療領域における内視鏡手術			
生涯教育履修点数	専門教科 20 点			
司会	なし			
講師	<p>「不妊症と手術」</p> <p style="text-align: center;">藤田医科大学 ばんだね病院 産婦人科 准教授 内海 史</p>			
内容	<p>「不妊症と手術」</p> <p>今夏の講演会は Google アカウントを使用した YouTube 視聴となった。</p> <p>不妊とは、妊娠を望む健康な男女が避妊をしないで性交をしているにもかかわらず、一年以上妊娠しないものをいいます。</p> <p>その原因には、男性因子女性因子がそれぞれあります。</p> <p>今回の講演では女性因子中の卵巣や卵管、子宮などに原因がある場合の以下の内視鏡手術適応例について、手術画像と共にお話して頂きました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラミジア感染症と卵管閉塞 <ul style="list-style-type: none"> 性器クラミジア感染症は、若い人の中で増加していて、特に女性では不顕性感染が多く感染に気付かないことがあります。放置しておくとう卵管閉塞や卵管周囲の癒着によって卵管に卵子が取り込まれにくくなるため不妊症となり手術対象となります。 卵管障害の検査として子宮卵管造影 (HSG) 検査があります。 ・子宮筋腫と子宮腺筋症 <ul style="list-style-type: none"> 子宮筋腫とは、子宮筋層にできる平滑筋腫瘍をいいます。 子宮腺筋症とは、子宮内膜に類似した組織が子宮平滑筋組織の中にできる疾患です。 不妊原因は子宮内膜に突出もしくは圧迫している粘膜下筋腫による着床障害です。 手術で取り除き、術後は一定期間の避妊が必要で、妊娠時に帝王切開が必要です。 ・子宮内腔病変 <ul style="list-style-type: none"> 子宮粘膜下筋腫、子宮内膜ポリープ、子宮奇形、子宮腔内癒着症などが挙げられます。 サイズ、存在部位、病変数などが影響を及ぼします。 			

	<p>子宮粘膜下筋腫では、子宮内腔圧迫と血流障害によって精子の輸送障害や受精卵の着床障害を引き起こすことが不妊や流産の原因とされます。</p> <p>子宮内膜ポリープでは、未治療でも妊娠する症例もあります。精子輸送障害や着床障害、子宮内腔の炎症などに影響を及ぼしていると考えられますが、妊孕性に対するメカニズムは明確になっていません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子宮内膜症 <p>不妊の原因としては、骨盤内癒着に伴う卵管障害、卵巣子宮内膜症性嚢胞による卵巣予備能の低下、腹腔内貯留液による配偶子や胚への影響などがあります。</p> ・子宮奇形 <p>子宮奇形に対する ASRM 分類があり、中隔子宮では不妊症の発生率が高いです。また早産のリスクが上昇します。</p> ・異所性妊娠 <p>妊娠反応が陽性にもかかわらず子宮内に GS を認めません。所謂子宮外妊娠です。妊娠 6 週頃に破裂のリスクが高くなり、突然破裂し大出血することがあります。治療は手術が主体となります。</p> <p>以上のお話がありました。</p>
参加者	総数：80 名（会員 45 名、県外会員 35 名、非会員 0 名、賛助会員 0 名、学生 0 名、その他 0 名）レポート提出者：56 名
共催、後援など	なし